



榎原 チャレンジ! 一歩前へ

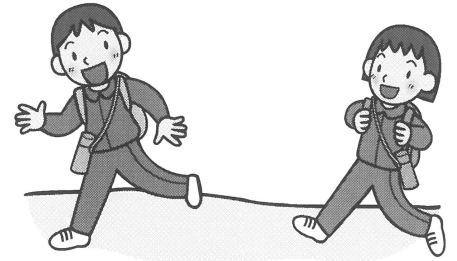
下郷町立榎原小学校
学校だより No.24
令和2年 9月 3日
文責:校長 酒井 健

◇学校生活のリズム回復が早かったです。

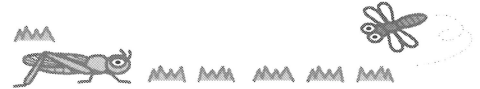
例年よりも短い夏休みだったこともあるのでしょうか。8月25日から2学期が始まり、1週間となりますが、1年生から6年生の子どもたち全員、あっという間に、学校の生活リズムを取り戻すことができました。

9月～10月には、各種行事、校外学習、学年行事等がたくさん行われます。臨時休業が続いた1学期とは、学校生活の回転が少し変わってきます。

学校としましては、日々の生活リズムを整えながら、一つ一つの取組において、子どもたちの「達成感」「充実感」を高めていくことができるように、全力で取り組んでまいります。



◇「防災の日」に避難訓練を実施しました。



9月1日は「防災の日」、1923年9月1日に発生した「関東大震災」にちなんでつくられたのが、この「防災の日」です。「どのような災害が起こっても、しっかりと準備や心構え、そして訓練をしておくことで被害を防ぐことができる」という想いが込められていると思います。

9月1日(火)の休み時間、突然の緊急放送で地震の発生を知った子どもたち。休み時間です。校庭で遊んでいる子、教室で本を読んでいる子・・・様々でした。でも、子どもたちは、放送をしっかりと聞いて、焦らずに指示に従って避難を開始することができました。避難を開始してから、校庭中央に集合し、人員確認が終了するまでにかかった時間は2分04秒でした。真剣な顔つき、急ごうとする姿、とてもすばらしい避難でした。

また、この日は南会津地方広域市町村圏組合消防署 下郷出張所の4名の隊員の方々にもおいでいただき、常日頃の防災の大切さ等についてご指導をしていただきました。



校長のひとりごと

子どもたちには、「キラリ!」と輝く瞬間があります。「授業の中で、分かった・できた瞬間」「50m走のタイムが伸びた瞬間」「友達との会話で楽しいと感じた瞬間」「給食でおいしいと感じた瞬間」「やってよかったと思えた瞬間」・・・毎日の生活の中で、「キラリ」「キラリ」が見られます。その時の子どもたちの表情は、実にすばらしいものです。瞳が輝くとよく言いますが、本当に瞳が「キラリ」とするものなんですね。そして、そのような瞬間に出会えた時に、すかさず、「よかったね」「よくやったね」と声をかけてあげることで、その子どもの気持ちは、何倍にも膨れ上がると思います。子どもたちの、とびきりの瞬間にたくさん出合いましょう。